



伊達市



賑わいを見せる農産物販売の様子

## 「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクール応募団体 観光物産館農産物販売協議会 【伊達市】 地域特性を活かした農業活性化活動

### はじめは？

伊達市観光物産館がリニューアル（平成24年4月）される前までは、敷地内に小さな道の駅がありましたが、人目につきにくいなどの課題がありました。また、販売を拡大したい新規就農者らが中心となり、平成21年から朝採りの野菜等を軽トラックの荷台で「だて軽トラ日曜朝市」を開催していました。

観光物産館の建設を契機に平成23年10月「だて軽トラ日曜朝市」を発展的に解消し、直売所に出荷する農家で観光物産館農産物販売協議会を設置しました。

### おもな活動

本協議会は、伊達市の農業活性化に寄与することを目的に観光物産館内の農産物直売コーナーで農産物の販売を行っています。販売する農産物は、新鮮な冬野菜や他で見られない新しい野菜を栽培する農家が増えるなかで、キャベツ、トマト、ブロッコリー、大根、カブ、キュウリ、ルッコラなど約150種類の野菜を始め、低タンパクにこだわった米、道内有数の早出しジャガイモ、果物、花まで多彩な農産物を揃えています。また、毎年秋に農産物生産者と消費者との交流の場として軽トラ朝市を開催し、農業者と消費者との交流の場としてもサポートを行っています。



軽トラ朝市の様子

### ここが自慢

#### 【地元へのこだわり】

協議会では、冬も人気の直売所にしようと伊達の温暖な気候を生かし、冬野菜の拡大に力を入れ、冬期間のハウス有効利用の観点から会員の半数ほどが冬野菜を栽培しており、農閑期の収入源となっています。また、伊達市農業協同組合が、伊達市の支援のもと、平成25年度から野菜産地としてのブランド力強化に向け、冬野菜の生産支援に取り組んでいることと相まって、同市からの冬野菜の出荷先は札幌圏や旭川市など都市部を中心に増えており、伊達野菜の知名度アップに繋がっています。冬野菜が伊達市の地域振興に寄与しています。



農産物販売スペースの様子

#### 連絡先

代表者名：阿部 宏昭さん／設立：2011年／会員：84名

住所：伊達市松ヶ枝町34-1

電話番号：0142-25-5567（問合せ 山崎 博司さん）

F A X：0142-25-5587

E-mail：-

U R L：-